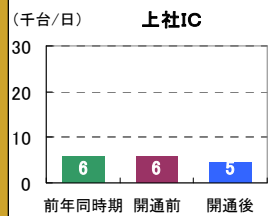


周辺高速道路のIC利用交通量

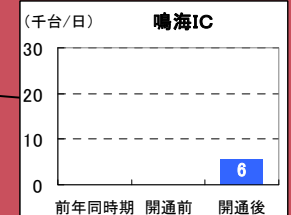
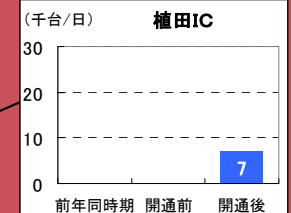
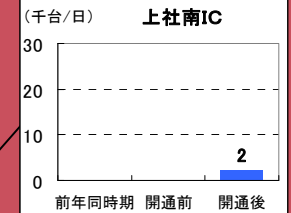
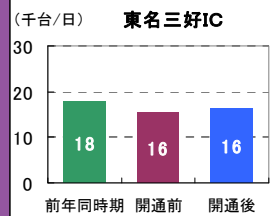
別添-2
開通直後

- 名古屋第二環状自動車道の新設ICの利用交通量は、約2～7千台/日となっています。
- 並行する名古屋高速3号大高線の端末出入口では、開通前と比べて約3千台/日減少しています。

名古屋第二環状自動車道



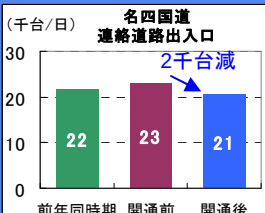
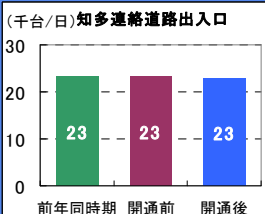
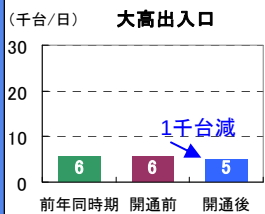
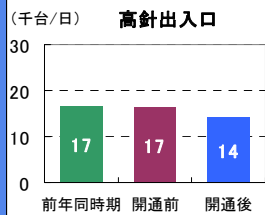
東名高速道路



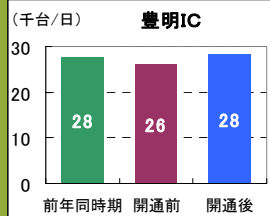
名古屋第二環状自動車道(新設IC)

名古屋高速道路(2号東山線 3号大高線)

大高線の端末出入口



3つの出入口の
合計でみると
3千台/日減少



伊勢湾岸自動車道

※上社IC: 入口交通量のみ
 ※新設IC: 入口交通量+ETC車の出口交通量

<名二環・東名高速・伊勢湾岸>

中日本高速道路データ

調査日 <前年同時期>H22.3.17(0:00~24:00)及び
 H22.3.24(0:00~24:00)の平均

<開通前>H23.3.16(0:00~24:00)

<開通後>H23.3.23(0:00~24:00)

<名古屋高速>

名古屋高速道路公社データ

調査日 <前年同時期>H22.3.17(7:00~7:00)及び
 H22.3.24(7:00~7:00)の平均

<開通前>H23.3.16(7:00~7:00)

<開通後>H23.3.23(7:00~7:00)

※東北地方太平洋沖地震の影響を受け、全体的に交通需要が落ち込んでいる可能性があるため、今後も引き続きデータの収集を進めます。